

発行所
大阪市水産物卸協同組合
大阪市福島区野田1-1-86
大阪市中央卸売市場内
郵便番号 553-0005
電話 (6469)3900番
http://www.suinaka.or.jp

Table with 3 columns: 仕入高と前年対比, 4月, (百万円), (%). Rows include 通常取引, 延取引, 直接集荷, 合計.

細井禎藏氏が新理事長に就任
木本・木畑両氏が副理事長に
第五十七期通常総会開催

組合の第五十七期通常総会は、五月二十四日(木)午後一時より業務管理棟十六階大ホールにおいて開催された。
まず長尾理事長が挨拶、その後議長に木本・細井両副理事長を選出、第一号議案から第四号議案までを慎重に審議、何れも原案通り承認可決された。

長尾理事長の挨拶
内外の経済動向を見
るとかなり景気が上向
いており、大企業を中
心として好成績、好決
算が発表されています。
しかしながら、中央卸
売市場を取り巻く状況
は、誠に厳しい環境に
あります。我々として
は、何とかこの状況を
打開していかなければ
なりません。



木畑副理事長



細井理事長



木本副理事長

当面の問題として、
将来必ず出てくる消費
税率アップについては
全国水産物卸組合連合
会(以下全国連)を中
心に青果や小売団体と
歩調を合わせ、増税の
反対運動を進めていか
なければなりません。
又、魚食宣伝につきま
しては、大阪本場では、
毎年一万人を超える市
場見学者を迎え、市場
PRにつとめています。
我々の上部団体である
全国連でも、十月十日
を魚(とこ)の日と定
め、各市場の特色を出
しながら魚食宣伝を進



めております。当組合
においてもマスコミ等
を活用しながら市場PR
に取り組んでいくと
ころです。
組合運営につきまし
ては、四年前私の就任
当時には、年間経費が
約三億程度かかって
いたのが、現在、二億
三千六百万円となつて
おります。これも各委
員会において厳しい査
定を行ない経費の削減
につとめてきた結果だ
と思っております。
今後とも引き続き皆
様方のご理解とご協力

第一号議案
平成十八年度(第
五十七期)事業報告・
財産目録・貸借対照表
・損益計算書並びに剰
余金処分案承認の件。

平成十八年度事業報
告については一読され
ているものとして省略
され、貸借対照表・損
益計算書等については事
務局より朗読と補足説
明が行われた。
その後、山田総務委
員長より平成十八年度
剰余金処分案について
説明が行われた。

山田総務委員長の説明
当期剰余金として約
三億六、九二二万円、別
途積立金取崩(特別融
資)が約一、二二五万円、
昨年承認して頂きまし
た経費負担率〇・五九
〇〇%に基づく最終分
配率で計算しました特
別分配金が約三億六、
三三三万円、これを皆
様に分配させて頂き、
差引当期剰余金が約一、
七〇五万円と符合致
します。

引続き平成十八年度
の決算について監事よ
り処理は「正確で適正」
との報告が行われた。
その後、議長が第一
号議案の承認の有無を
議場に諮ったところ、
全員異議なく原案通り
承認可決された。

平成十九年度事業計
画(第五十七期)承認
の件
事務局より事業計画
案朗読の後質疑応答に
移った。

意見一施設使用料の
引き下げについては、
昨年業種会の会長を通
じて三千名余りの署名
を集め組合に要望書を
提出いたしました。
諸般の事情は充分理
解しておりますが、我
々としても厳しい経営
環境でありますので、
われわれの意志をくみ
取って頂き、少しでも
前進するように対応を
御願いたします。水産だ
けでなく市場全体の賛

問 販売促進の事業計
画の中に、「買出人誘致
と定期的な市場開放の
企画を検討する」とあ
ります。企画を検討す
るのではなく、実施とい
うことで是非お願いし
たい。
市に開放したから
状況が改善されるとい
うものでもないですが、
市場の賑わいに繋がる
と思います。どうか毎
月一回でも市場開放デ

同を得つつ、また市会
にも働きかけて戴きた
いと思います。
答 要望内容を踏まえ
活動していきたいと思
います。

同を得つつ、また市会
にも働きかけて戴きた
いと思います。
答 要望内容を踏まえ
活動していきたいと思
います。

同を得つつ、また市会
にも働きかけて戴きた
いと思います。
答 要望内容を踏まえ
活動していきたいと思
います。

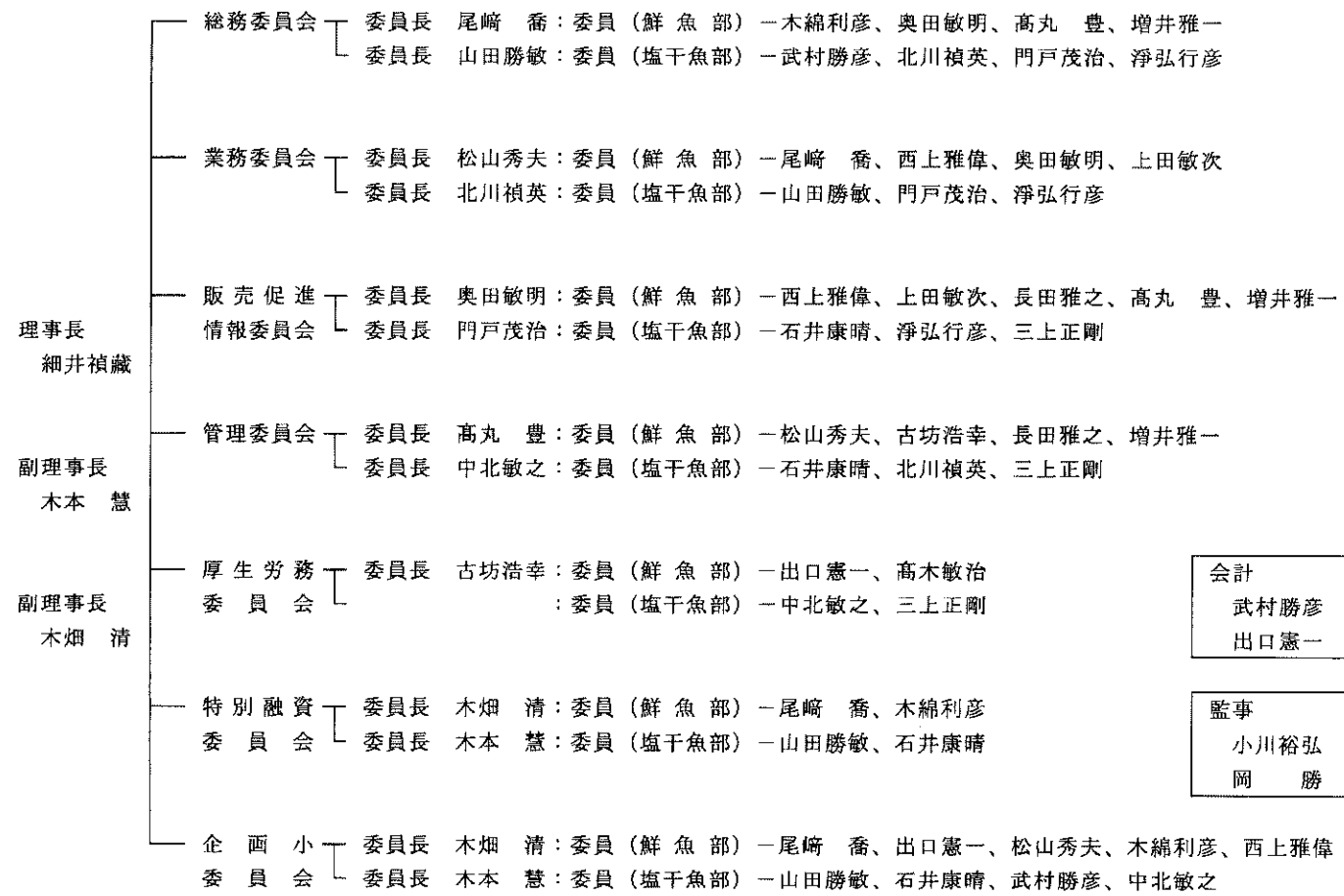
同を得つつ、また市会
にも働きかけて戴きた
いと思います。
答 要望内容を踏まえ
活動していきたいと思
います。

平成19年5月28日

大阪市水産物卸協同組合 分科委員会等職制表

資料1

役員名簿
理事長 細井禎藏
副理事長 木本 慧
同 木畑 清
常任理事 山田勝敏
同 尾崎 喬
同 石井康晴
同 武村勝彦
同 出口憲一
同 松山秀夫
同 木綿利彦
同 中北敏之
同 西上雅偉
理事 北川禎英
同 門戸茂治
同 奥田敏明
同 古坊浩幸
同 上田敏次
同 淨弘行彦
同 長田雅之
同 高丸 豊
同 増井雅一
同 高木敏治
同 三上正剛
監事 小川裕弘
同 岡 勝



会計
武村勝彦
出口憲一

監事
小川裕弘
岡 勝

組合日誌

(平成19年3月6日～5月26日迄)

- ◎3月
 - 6日・鮮魚部定例理事会
 - ・塩干部定例理事会
 - 7日・熊本地方市場本場視察(情報化の取組みについて説明)
 - 8日・共同利用設備運営委員会
 - 9日・市場まつり実行委員会
 - 11日・第46回施設児童訪問おさかなパーティ
 - 12日・定例理事会
 - 13日・卸との取引協議会
 - ・販促・広報合同委員会
 - 16日・食品衛生協会見学会(アベノ防災センター)
 - 19日・総務委員会
 - 20日・空き店舗賃貸説明会
 - 22日・鮮・塩合同全協力委員会
 - 24日・空き店舗賃貸抽選会
 - 27日・女性雑誌記者対象料理教室(販促)
 - 29日・厚生労務委員会
- ◎4月
 - 3日・鮮魚部定例理事会
 - ・塩干部定例理事会
 - ・理事長、宮崎県知事と懇談
 - 6日・管理委員会
 - 7日・鮮・塩業務委員会
 - 9日・定例理事会
 - 12日・広報委員会
 - ・選挙管理委員会
 - 13日・企画小委員会
 - 14日・おさかな普及協議会総会
 - 16日・販売促進委員会
 - 17日・特別融資事業委員会
 - 18日・業務と卸との協議会
 - ・厚生労務委員会
 - 19日・総務委員会
 - 21日・鮭の日委員会
 - 23日・会計監査
 - 26日・予算編成及び臨時役員会
- ◎5月
 - 1日・鮮魚部定例理事会
 - ・塩干部定例理事会
 - 10日・選挙管理委員会
 - 14日・定例理事会
 - 16日・販売促進委員会
 - 24日・第57回通常総会
 - 26日・初理事会

「一面※より続き」
 を考えて頂きたいと思
 います。
 答 市民への開放は確
 かに市場の活性化の一
 端を担うかどうか、こ
 れが全てではないと思
 いますが、一般の消費
 者に開放するという事
 は必要だと思ひます。
 組合としても真摯に取
 り組んで行きたいと思
 います。ただ、皆さん
 にお願ひしたいのは、
 昨年末、市場協会主催
 の「市場祭り」に協力
 させて頂きました。そ
 の時点でやはりいつも
 問題になっていたのが
 仲卸の方々が販売する
 商材についてのモラル
 の問題です。こういった
 市場開放も必要だと

第三号議案

平成十九年度(第
 五十七期)収支予算案
 承認の件
 事務局より議案書に
 基づき、予算案の補足
 説明の後、山田総務委
 員長が経費負担率及び
 額について詳細に説明
 (資料2)を行った。
 ◎山田総務委員長の説
 明
 皆様ご承知のように
 上場企業、大手企業を
 中心に景気が回復基調
 にあり、景気が非常に
 良くなっていると言わ
 れております。しかし、
 私たちの市場を取り巻
 く環境は景気回復には
 ほど遠い状況にありま

充分認識しております
 が、個々のお店や、会
 社が本場ブランドにふ
 さわしい商品を提供し
 て頂くことが大切で、
 責任の所在のあり方を
 はっきりして頂かなけ
 れば個々のお店の責任
 では済まされず、水産
 全体、ひいては市場の
 イメージダウンにつな
 がることとなります。
 その点も踏まえた上で
 われわれも一所懸命努
 力致しますので、皆さ
 んのご協力もどうかよ
 ろしくお願い致します。
 その後、議長が承認
 の有無を議場に諮った
 ところ、全員異議なく
 原案通り承認・可決さ
 れた。

第四号議案

任期満了に伴う役
 員改選の件
 選挙管理委員長の田
 浦氏より次のような報
 告が行われた。
 ◎田浦選挙管理委員長
 の報告
 この度の役員選挙に
 付しましては、去る四
 月二十六日に公示を行
 い、役員立候補及び推
 薦の届出を、五月八日
 午後一時をもって締め
 切りました。この結果
 立候補、推薦の届出は
 鮮魚部におきましては



資料2 経費総額(及び差引き経費額)に対する各項目の金額と対象比率及び負担額

年 度	A 総取扱高 千円	B 経費総額等 千円	C 事業外収入等 千円		D 差引経費額 千円	E 組合費合計 千円				F 助成金よりの経費負担額 (経費負担率算出対象額) 千円			G 経費負担率 %
			金額	C/B		月額	金額	E/B	E/D	D-E	F/B	F/D	
19	98,000,000	236,500	12,520	5	223,980	26,000	166,296	70	74	57,684	24	26	0.05886

理事定数十四名のところ
 十四名、監事定数一
 名のところ一名、また
 塩干部におきましては
 理事定数九名のところ
 九名、監事定数一名
 のところ一名の立候補
 又は推薦の届けがあり、
 五月十一日(金)に組
 合員の皆様に発表、通
 知致しました。
 従いまして、鮮魚部

- 理事会・委員会だより**
- ◎一月
 - 一、理事長報告
 - ①平成十八年度優良せり人選考委員の推薦について
 - ②年末年始のスケジュール
 - 【事務局連絡事項】
 - ①福島けいしろう参議院議員の応援について
 - ②分科委員会報告
 - ◎広報委員会
 - ①すいなか二九四号発行の件
 - ◎総務委員会
 - ①平成十九年一月一日付許可
 - ②光進水産物の件
 - ◎業務委員会
 - ①平成十八年度鮮魚年末決済期日延長取引について
 - ◎厚生労務委員会
 - ①青年会との新年懇談会開催について
 - ◎販売促進委員会
 - ①魚食普及について
 - ②水産仲卸の取扱マップ作成について
 - ③全国水産加工たべもの展について
 - ◎管理委員会
 - ①二階事務所のマップ
 - ◎企画小委員会
 - ①空き店舗活用の説明会開催について
 - ◎二月
 - 一、理事長報告
 - ①全国連正副会長会議開催の件
 - ②平成十七年仲卸業者の経営状況について
 - ③平成十八年度市場取扱品流通状況調査結果について
 - ④熊本地方市場の大阪本場視察の件
 - ◎分科委員会報告
 - ◎特別融資委員会
 - ①自己破産した光進水産物の件
 - ◎総務委員会
 - ①平成十九年二月一日付許可
 - ②平成十九年三月一日付許可申請
 - ③職員人事の件
 - ④協力委員会の開催の件
 - ◎光進水産物の件
 - ⑤破産未処理店舗の件
 - ⑥がん保険募集の件
 - ◎業務委員会
 - ①セリ代行・副参加更新及び新規申請の件
 - ②セリ参加資格取得に

鮮魚部監事 岡 勝
 塩干部理事 木本 慧
 浄弘行彦、北川 慎英、
 三上正剛、中北敏之、
 門戸茂治、武村勝彦、
 石井康晴、山田勝敏
 塩干部監事 小川 裕
 以上でございます。
 総会は午後一時過ぎ、
 全議案の審議を終了、
 何れも原案通り承認可
 決され閉会した。
 なお、初役員会が二
 十六日に行われ資料1
 に記載のとおり正副理
 事長、各委員長ポスト
 が決まった。

- ◎三月
 - 一、理事長報告
 - ①鮮魚部・塩干部合同協力委員会開催の件
 - ②平成十九年度予算方針委員会開催の件
 - ③尼崎水産井上理事長叙勲記念祝賀会開催の件
 - ④今後のスケジュール【事務局連絡事項】
 - ①品質管理の方法に関する要綱制定について
 - ◎その他
 - ①食品衛生協会の件
 - ◎広報委員会
 - ①すいなか発行の件
 - ②すいなか資料版の件
 - ◎特別融資委員会
 - ①㈱久友商店の件
 - ②㈱ダイタツの件
 - ◎その他
 - ①食品衛生協会の件
- ◎食品流通に係る取引の適正化推進について
- ③参議院議員全国比例区の推薦について
- 二、分科委員会報告
- ◎厚生労務委員会
- ①水産厚生食堂運営の件
- ②個別加入に係る新しい健康保険証交付の件
- ◎総務委員会
- ①平成十九年三月一日付許可
- ②平成十九年四月一日付許可申請
- ◎光進水産物の件
- ◎業務委員会
- ①セリ代行・副参加更新及び新規申請の件
- ②卸会社との取引問題協議会開催の件
- ◎事故品処理事務所の閉鎖の件
- ◎販売促進委員会
- ①魚食普及について
- ②視察について
- ③販売活動について
- ◎管理委員会
- ①魚あら助成金の還付の件
- ②組合管理倉庫の件
- ③平成十八年度共同利用料精算還付金の件
- ◎企画小委員会
- ①空き店舗活用につい

関する取決め事項につ
 いて
 ◎セリ開始時間繰り下
 げについて
 ◎販売促進委員会
 ①魚食普及について
 ②水産仲卸の取扱マッ
 プ作成の件
 ◎視察の件
 ③今後の販促活動の件
 ◎管理委員会
 ①一般魚あらの還付に
 ついて
 ②空き倉庫公券の件
 ③鮮魚地下加工場の件
 ◎企画小委員会
 ①空き店舗活用の件
 ◎厚生労務委員会
 ①石綿健康被害者救済のための「一般搬出金」
 徴収の件
 ②青年会主催「第四十六
 回施設児童訪問おさか
 なパーティ」の件
 ◎広報委員会
 ①すいなか二九四号
 号発行の件
 ②すいなか資料版八十
 九号発行の件
 ◎その他
 ①食品衛生協会の件

